



尾久西だより

荒川区立尾久西小学校
発行日 平成28年12月1日
発行者 校長 末永 寿宣

No. 310 12月号

歴史資料館「尾久西ミュージアム」の情報クリーンアップ ～legacy（レガシー＝遺産）として後世に受け継ぐために～

校長 末永 寿宣

荒川区には、荒川が流れていません！と言うと大概の人が驚きますが、隅田川がかつて荒川と言われていたことから付いた名前です。そして、荒川区は行政サービスが23区でもトップクラスで、子育て環境分野は全国で1位2位を争う充実した区です。素晴らしいです。

本校には、この子育て環境を培ってきた荒川区西尾久地区の昭和の暮らしが分かる歴史資料館があります。4階の東に「尾久西ミュージアム」として学校の歴史や当時の暮らしが資料館として実物を展示しています。今後は、学校と地域が一体となって、この資料館を本校の遺産（レガシー）として、後世に残していく必要があります。

過去 創立80周年記念

13年前の創立80周年記念式典の際に「尾久西ミュージアム」が開館されました。学校に残っている学習机や椅子、当時の校章や記念誌などが展示されており、地域から寄贈された昭和の暮らしを学習できるように様々な衣食住に関する資料がそろっています。

これだけの資料を一か所に展示するには、当時大変なご苦勞があったことでしょう。恐らく周年実行委員会の方々を声掛け合い、収集にご尽力されたに違いありません。

現在 創立90周年後の情報クリーンアップ

先日、区立荒川ふるさと文化館から上級主任学芸員の方にご来校いただき、資料館を見ていただきました。「立派な資料館ですね。一校でここまで実物がそろっているのは驚きです。」とお褒めいただきました。さらに充実させるために、以下のようなアドバイスをいただき大変参考になりました。

- 子供たちが実際に触って地域の方に使い方を教わるなど、地域の方と共に子供たちが学ぶ場があると良い。
- 写真資料を「学校の歴史コーナー」と「昭和の暮らしコーナー」に配置を変えると、分かりやすく見やすくなる。
- 周年行事の時の記念品を展示すると当時を振り返りやすい。
- 荒川遊園地や都電荒川線、戦後の工場（鉛筆工場・ビール工場・レンガ工場等）に関する資料があると学習で活用しやすくなる。

未来 創立100周年めざして

尾久西小の子供一人一人が、身近にある歴史資料館を活用し、学校と地域が一体となり、100年間の財産を振り返り、郷土学習を存分に享受できるように、保護者・地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。明年1月24日（火）の研究発表会では、ご来校の際に、是非ご覧ください。



▼昭和の教室を復元したコーナーには、木の机や当時の教科書が展示されています。また、統合された小台橋小学校の校旗や校歌も飾られています。



▼昭和の初期に使われていた火鉢やストーブが展示され、当時の暮らしを見ることができます。



▼畳の敷かれたコーナーには、家庭の茶の間が復元され、懐かしい家電も展示されています。